

2024スイス・バーゼル大学等派遣学生の声

本多 功典 さん

(富山大学大学院 医学薬学教育部薬科学専攻 博士後期課程2年)



バーゼル大学での授業や実習に参加し、スイスの教育スタイルを体験しました。特に、学生同士が積極的に議論しながら学ぶ姿勢が印象的で、主体的に学ぶ大切さを実感しました。また、製薬企業を訪問し、研究の応用や産業とのつながりについて学ぶ貴重な機会となりました。

派遣費用については、県の補助金（約38.7万円）と富山大学のSPRING事業（約31.4万円）から支援を受け、自己負担はほとんどありませんでした。経済的な負担を気にせず参加できたのは大きなメリットでした。

授業や企業訪問に加え、バーゼル大学の学生にホームパーティーに招待され、本場のチーズフォンデュやワインを楽しむなど、スイスの文化を体験できました。

研究やキャリアの視野を広げたい人は、ぜひ挑戦してみてください！



阪野 奨太 さん

(富山県立大学大学院 工学研究科生物・医薬品工学専攻 修士課程2年)



バーゼル大学での実習では、非常に実践的な技術と知識を習得し、学びの幅が大きく広がりました。また、研究室訪問では先進的な研究環境や国際的な視野を体感することで、将来の研究への意欲が一層高まりました。さらに、さまざまなバックグラウンドを持つ学生たちとの意見交換により、視野を広げる貴重な経験を得ることができました。

派遣費用は、県の補助金（40.3万円）と富山県立大学の同窓会および後援会からの支援（8万円）を受け、自己負担は約17万円（食費を含む。）となりました。自費で行く場合に比べ、かなり経済的な負担が軽減され、その点が大きな利点となりました。

スイス留学では、研究面だけでなく、バーゼルの秋祭りHerbstmesseにも参加し、現地の文化や風習を肌で感じました。研究への刺激はもちろん、国際的な視野と人脈を得る絶好の機会です。ぜひ積極的に参加してみてください！

